



学校だより

令和2年5月11日
横浜市立豊田小学校
5月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

“緊急事態宣言延長”を受けて～だからこそ心豊かに～

学 校 長

現段階では、どのような専門家であっても新型コロナウイルスの感染拡大の終息を予想することは極めて難しい状況です。今後、治療薬が見つかる可能性を考慮しても、終息には半年から1年以上はかかるのではないかと、「長期戦」を覚悟しなければとの識者の声が多く聞かれます。まさに、今、人類の敵との闘いを強いられている“危機の時代”を、私たちは生きています。かつて放映されたNHK番組『決戦 人類最強の敵』～日本人リーダー天然痘と闘う～の中で、司会者の「天然痘撲滅の一番大きな意味は、どんなところにあるとお考えですか。」との質問に、蟻田功（ありた いさお）さんが、答えた次の言葉が、大きな重みをもって迫ってきます。

「今、新聞を見ていると色々な宗教の違いから起こしたことや政治の違いから起こしたこととか、でも、私たちは、もっと、団結してしっかりとやる目的があるんじゃないかと思うんです。世界には、本当に立派な人とか、希望の人とか、世界には、ワンダフルピープルにあふれているんじゃないかと思うんです。そんな人たちが一緒になれば、いろんなことができる、そういうことじゃないかと思うんです。」



職員室前には、国連 WFP からの一枚のポスターが掲示してあります。そこに大きく映し出されている子どもは、アフリカの国ウガンダ北部の女子小学生でした。「給食があるから学校に通える」と、主にトウモロコシの粉を水で溶かしたものを両手で持っています。今回、脅威を与え続ける新型コロナウイルス感染拡大で、その子どもたちの学校も休校となり、これまで以上に世界中の社会的に弱い立場に置かれている子どもたちが窮地に立たされています。

こうした“危機の時代”だからこそ、子どもたちが安心と希望を取り戻し、将来の夢を思い描いて歩いていけるため、私たち一人ひとりが「私は 必ずあなたを守る」と、子どもたちをしっかりと支えていける心豊かな「ワンダフルピープル」の一員になっていかなければと強く思うのです。

本日、次のものを配付いたしました。ご確認ください。

- ① 学校だより5月号
- ② 健康観察票（5、6月分）黄色
- ③ 家庭学習についての学年からのお知らせ、家庭学習プリント

「提出します」と書いてあるものは、6月学校再開時に同じ茶封筒に入れて、提出してください。